

(様式4)

空き家を使って店舗運営をやってみよう！
「空き家マルシェ」



1 事業の概要

多可町には鉄道や高速道路が無く、観光資源が少ないため兵庫県の中でも知名度のない自治体ですが、奈良時代には生産量日本一を誇る杉原紙の産地であり、また、播州織がもっとも栄えていた頃は、全国から女子従業員が働きに来る集団就職先としても知られていました。こうした歴史背景は、歴史の証人でもある播州織工場跡の「のこぎり屋根」や寄宿舍、まちの風景を特徴づけている古民家などの建物が取り壊されると共に忘れ去られつつあり、時代の流れの中で全国の多自然地域の自治体同様、人口減少と空き家の問題が深刻化しているのが現状です。しかし、多可町への移住希望者の多くはこうした古い建物での生活や店舗経営などに関心を持っているため、空き家となっている古民家の活用方法を目に見える形で提案してイベントとして関わるきっかけがあれば、それらの魅力を町内外の人たちに発信することができます。また、いつか自分で店舗を運営してみたいという夢を持っている人たちにとっては、空き家（古民家）でのイベント出店という経験をするることによって具体的に将来のビジョンを持つことができるようになるため、空き家を活用したマルシェを開催し、複数の空き家を巡ることによって空き家（古民家）の魅力だけでなく、地域のことを知ってもらう取り組みを行います。

2 事業予定

2019年

- 5月 参加メンバーの顔合わせと今後の活動の打ち合わせ
- 6月 町内の空き家巡りツアーの実施
- 7月 古民家改修ワークショップ（改修作業と昔ながらの料理の実施）
- 9月 空き家マルシェへの出店者募集の告知に関する戦略会議
- 10月 空き家マルシェの運営会議
- 11月 空き家マルシェ実施
- 12月 古民家でのお泊まり会と餅つきなどの実施

2020年

- 2月 成果発表のプレゼン内容の取りまとめ作業
- 3月 成果発表

3 ふるさとづくり青年隊に望むこと

兵庫県の中でも知名度の低い多可町という地域を知ってもらい、中山間地域ならではの生活様式や文化を肌で感じてもらうことで、日本文化の良さや伝統建築物の魅力を感じてもらいたいと思っています。そして、空き家を活用した仮店舗での運営を通して、店舗経営の夢を持っている人たちと共に夢をかなえるワクワク感や空き家を活用したいと願っている家主や地域の人たちの思いを感じ取ってもらいたいと思っています。また、人口減少や空き家の増加に関する社会背景にも触れてもらい、社会課題に対して自ら関わることができるという視点を持ってもらえたらと思っています。

4 連絡先

- (1) 団体名：紡 -TSUMUGI-
- (2) 所在地：兵庫県多可郡多可町加美区三谷 255
- (3) HP、SNS等：
 - ウェブサイト：<http://takatsumugi.com/>
 - facebook：<https://www.facebook.com/takatsumugi/>